

1 流域保全区域

鏡川中上流域における開発を起因とした濁水流入防止のための新たな区域指定として検討している「流域保全区域」については、区域指定の効果と規制の大きさのバランスへの配慮や他法令との役割分担の整理が必要といった課題があるため、庁内での検討を継続している。

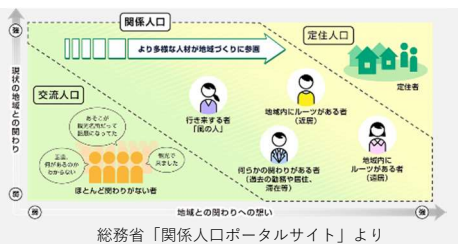
2 景観形成区域

景観形成区域の候補地の住民と区域指定及び指定区域の保全手法について協議を行う中で、住民からは、地域の人口減少、高齢化等を背景として、「景観形成区域に指定されることは誇らしいが、その後の区域を守る取組が負担である」等の声が聞かれた。地域の担い手が減少する中、今後の景観の保全・形成に向けては、地域外からの多様な自然への関わりが重要となっている。

そのため、流域の自然への人の関わりを増やすことを目的に、令和3年度より流域内外から流域の自然に多様に関わる関係人口を創出・拡大する「鏡川流域関係人口創出事業」を実施している。

関係人口・・・

移住した「定住人口」でもなく、観光にきた「交流人口」でもない、特定の地域に継続的に多様な形で関わる者。人口減少・高齢化により地域づくりの担い手不足という課題に直面している地方にとって、関係人口と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待される。



(1)鏡川流域関係人口創出事業の概要

関係人口の創出・拡大に向けて、鏡川流域の自然を生かした多様な関わり方を実行できる人材を育成するとともに、流域外からの人の流れを作るため、鏡川の流域内、流域外のそれぞれの住民を対象とした鏡川流域関係人口創出講座を実施する。併せて、鏡川下流域や大都市圏の人材が関わることでできる鏡川上流域の「不足していること」や「提供できること」を可視化し、多様な人材の参加と関わりを促進させるネットワークインフラとして、電子地域ポイントシステムを導入する。

(2)鏡川流域関係人口創出講座（実施状況は右表のとおり）

流域内講座「鏡川 RYOMA 流域学校」

- ・目的：鏡川流域の持続可能性を高めるため、地域と市街地との関わり方を考える
- ・対象者：高知市在住の社会人や大学生（28名申込）
- ・開催場所：鏡川流域
- ・講座内容
 - 講師やゲストによる鏡川流域の現状や地域の未来を考えるためのレクチャー、現地フィールドワーク、電子地域ポイントシステムを通じた流域との関わり方についての検討（全4回）

流域外講座「エディット KAGAMIGAWA」

- ・目的：鏡川流域の持続可能性を高めるための鏡川流域と高知市外の関係人口との関わり方を考える
- ・対象者：高知市外在住の社会人や大学生（25名申込）
- ・開催場所：オンライン
- ・講座内容
 - 地域の編集術に関するレクチャー、現地フィールドワーク、電子地域ポイントシステムを通じた流域との関わり方についての検討（全4回）
 - ※現地フィールドワークは、「高知・鏡川 RYOMA 流域学校」と合同で実施

(3)電子地域ポイントシステム

地域の活動にユーザーが参加することでポイントを獲得できる機能及び獲得したポイントを使用してユーザーが地域独自のサービスを受けることができる機能を備えた電子地域ポイントシステム（スマートフォンアプリ）を活用し、ポイントのやり取りを通じて、鏡川流域の自然に関わるきっかけをつくっていく。

具体的には、(株)カヤックが提供する「まちのコイン」を令和4年3月に本格運用を開始することとし、準備を進めている。

<鏡川流域関係人口創出講座 R3 年度実施状況>

流域内講座「鏡川 RYOMA 流域学校」	流域外講座「エディット KAGAMIGAWA」
<p>第1回講座（令和3年12月23日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場 所：龍馬の生まれたまち記念館 ・参加者数：20名 ・テ ー マ：鏡川流域を知る/鏡川流域の未来づくりのコンセプトを考えてみる ・講座内容：メイン講師・メンターレクチャー、鏡川紹介、電子地域ポイントシステム説明、ワークショップ等 	<p>第1回講座（令和3年12月27日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場 所：オンライン ・参加者数：18名 ・テ ー マ：鏡川流域を知る/地域の編集術を学ぶ ・講座内容：メイン講師・メンターレクチャー、鏡川紹介、電子地域ポイントシステム説明、ゲスト活動紹介、ワークショップ等
<p>第2回講座（令和4年1月16日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場 所：土佐山下沈下橋付近の古民家、オーベルジュ土佐山 ・参加者数：16名 ・テ ー マ：鏡川流域とのワクワクする関わり方を考えてみる ・講座内容：アクティビティ、ゲスト活動紹介、ワークショップ、発表・講評等 	<p>第2回講座（令和4年1月13日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場 所：オンライン ・参加者数：17名 ・テ ー マ：編集視点で鏡川流域との関わり方を考えてみる ・講座内容：ゲストディスカッション、ワークショップ、発表・講評等
<p>第3回講座(令和4年2月4日～6日 流域内・外合同で実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場 所：オンライン（※流域内受講生を分散して現地訪問を実施） ・参加者数：1日目25名、2日目24名、3日目24名 ・テ ー マ：鏡川流域を五感で体験する ・講座内容：オンラインフィールドワーク、ワークショップ、電子地域ポイントシステムチケット作成体験等 ・訪 問 先：土佐山学舎、夢産地とさやま開発公社、久重地域、鏡坂口地区鏡川漁業協働組合、南国生活技術研究所代表黒笹慈幾さん、ひまわり乳業株式会社代表取締役社長吉澤文治郎さん、 	
<p>第4回講座(令和4年2月20日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場 所：オーテピア高知図書館、オンライン ・参加人数：27名 ・テ ー マ：最終発表会 ・講座内容：受講生による鏡川流域との関わり方のプラン発表 	<p>第4回講座(令和4年2月18日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場 所：オンライン ・参加人数：25名 ・テ ー マ：最終発表会 ・講座内容：受講生による鏡川流域との関わり方のプラン発表